

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区

令和6年1月

千葉県柏市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	柏市	地区名	柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区			面積	428ha				
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	2,103百万円	国費率	0.449						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】こんぶくろ池公園、正連寺並木道緑地、2号近隣公園(北部中央)、3号近隣公園(北部中央)、2号街区公園(北部中央)、6号街区公園(北部中央)、【下水道】大室東地区雨水排水、【地域生活基盤施設】公共サイン整備、【高質空間形成施設】せせらぎの小径、東地区川端調整池修景整備										
		提案事業	【事業活用調査】都市再生整備計画事後評価										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-			-		-					
		提案事業	-			-		-					
	新たに追加した事業	基幹事業	【公園】御領前地区街区公園(大室東地区)、多目的公園(大室東地区)	まちづくりが進む柏たなか駅周辺の居住誘導区域である大室東地区において、良好な住環境整備の一環として都市公園・緑地を整備するもの。		指標2.3に関連性があり、都市構造再編集中支援事業への移行と合わせ、評価指標の数値の見直しを行った。							
		基幹事業	【地域生活基盤施設】防災備蓄倉庫等整備事業	災害にも対応した都市空間となるように、地域の防災拠点となる小学校に防災備蓄倉庫等を整備するもの。		指標2に関連性はあるが、目標及び指標への影響はない。							
		提案事業	【地域創造支援事業】柏北部東地区新設小学校関連施設整備	地域コミュニティの中心となるよう、保全樹林を活かし、まちなかに滞留空間を創出する学校関連施設を整備するもの。		指標1.2に関連性はあるが、目標及び指標への影響はない。							
	交付期間の変更	当初	平成31年度～平成35年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	令和1年度～令和5年度										
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1		住みごちの良さに対する満足度	%	76.2	H30	82.0	R5	69.8	×	あり	●	整備の終わった公園がある一方で、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかったため、未整備となっている公園が多く、長期にわたり、ガードフェンスや雑草等が生え荒れた状態で放置されていたことが住みごちの良さにつながらず、目標未達成となった。	-
指標2		緑環境に対する満足度	%	51.8	H30	62.0	R5	52.6	×	あり	●	整備の終わった公園がある一方で、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかったため、未整備となっている公園が多く、長期にわたり、ガードフェンスや雑草等が生え荒れた状態で放置されていたことが緑環境の良さにつながらず、目標未達成となった。	-
指標3		地区内におけるエリアマネジメントの取組件数	件/年	5	H30	7	R5	7	○	あり	-	こんぶくろ池公園の整備と並行してこんぶくろ池公園ボランティア支援事業をH26年度から続行している。また、公共サイン整備事業において、かけだし横丁脇の道路等に公共サインを整備することで、歩きやすい空間の創出を行い、新たに道路空間利活用事業(かけだし横丁脇)等の実施に貢献した。	-
指標4										あり			
指標5										あり			

	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	5年前と比較した住みご ちの良さに対する満足度	%	—					33.0			交付金の活用により御領前地区街区公園、正連寺並木緑道、川端調整池の修景整備や小学校関連施設の整備完了し、うるおいある環境整備が進んだことや、雨水排水や防災備蓄倉庫といった施設整備が進んだこと等、取組の進展が居住者にも見えたことが、こうした結果につながった要因となったと考えられる。	
	その他の 数値指標2	5年前と比較した水・緑環 境に対する満足度	%	—					36.2			交付金の活用により御領前地区街区公園、正連寺並木緑道、川端調整池の修景整備や小学校関連施設の整備完了し、うるおいある環境整備が進んだことが、こうした結果につながった要因と考えられる。	
	その他の 数値指標3	整備した公園や緑道、公 共サインへの訪問・散策意 向	%	—						64.6			交付金の活用により御領前地区街区公園、正連寺並木緑道、川端調整池の修景整備や公共サイン整備完了し、快適な空間整備が進んだことが、こうした結果につながった要因となったと考えられる。
4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんぶくろ池公園において、NPO法人こんぶくろ池自然の森による環境教育・啓蒙活動や研究活動、他団体と連携したイベント等が多数開催された</li> <li>・柏北部東地区農あるまちづくり実行委員会によって、川端調整池に整備された遊歩道と歩道間の法面花壇に植える菜の花の種ダンゴを地域の子どもたちにつくってもらいイベントが実施された</li> </ul>												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング						<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>						
	官民連携による 取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫観察会や定期的な自然観察会等</li> <li>・農業体験農園の運営支援や朝市・収穫祭等のイベント</li> <li>・民間私有地と歩道を活用したフリーマーケット等</li> <li>・フラワーカーペット、屋外映画上映や手持ち花火大会等</li> <li>・柏の葉ゲートスクエアプラザへのキッチンカーの配置</li> <li>・街中でのハロウィンイベント</li> <li>・UDCKのこれまでの取組と今後の活動紹介</li> <li>・住民のチャレンジを後押しする企画</li> <li>・柏たなか地区まちづくり検討協議会による東地区川端調整池修景整備事業の整備内容に関する協議</li> <li>・柏の葉国際キャンパスタウン構想委員会空間デザイン部会による公共サインのデザイン調整、「正連寺の並木道」「せせらぎの小径」の設計における助言</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>				● 今後も継続し取組の展開に努める		
	持続的なまちづくり 体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会による駅周辺の清掃及びムクドリ対策</li> <li>・一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンターが中心となり、住民同士の交流会、スマートシティ検討のためのプラットフォームの組成、「プロジェクト連携会議」の開催を行った</li> <li>・一般社団法人UDCKタウンマネジメントが発足し、エリアマネジメントの取組及び道路占用許可の特例制度を活用した歩行者空間における賑わい創出に取り組んだ</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>				● 今後も継続し取組の展開に努める		

## 様式2-2 地区の概要

柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区(千葉県柏市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 優れた自然環境と共生し、健康で高質の居住・就業環境が実現される、持続性・自律性の高い「次世代環境都市」となるためのまちづくりの推進 小目標① 環境と共生する田園都市づくり 小目標② 質の高い都市空間のデザイン創出 小目標③ 公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施	住みごごちの良さに対する満足度	単位: %	76.2	H30	82.0	R5	69.8	R5	
	緑環境に対する満足度	単位: %	51.8	H30	62.0	R5	52.6	R5	
	地区内におけるエリアマネジメントの取組件数	単位: 件/年	5	H30	7	R5	7	R5	
		単位:	—	H	—	R	—	R	
		単位:	—	H	—	R	—	R	
		(公園事業) ①こんぶくろ池公園 ②2号近隣公園(柏北部中央地区) ③3号近隣公園(柏北部中央地区) ④2号街区公園(柏北部中央地区) ⑤6号街区公園(柏北部中央地区) ⑥正連寺並木道緑地 ⑦御領前地区街区公園(大室東地区) ⑧多目的公園(大室東地区)		計画区域全域 都市再生整備計画事後評価及び次期計画策定(事業活用調査) カシニワ制度		柏たなか駅周辺 柏北部東地区農あるまちづくり事業 柏たなか駅前公園活用事業		凡例 ■ 基幹業 ■ 提案事業 - - - 関連事業	
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>川端調整池の修景整備や正連寺並木緑道の整備により、緑あふれる都市空間の創造に寄与したが、引き続き整備中であるこんぶくろ池公園やせせらぎの小径等の整備を進める必要がある。</li> <li>御領前地区街区公園の整備やこんぶくろ池公園は整備を進めている一方、複数の公園が未着手で残されていることから、早期に整備することが必要である。</li> <li>整備後の公園や緑道の維持・管理や継続的な整備と併せ、その財源確保が必要である。</li> <li>新たな小学校関連施設や防災備蓄倉庫の整備、東地区雨水排水の整備進展により防災性の向上が図られたが、雨水排水施設については引き続き計画に基づき整備を進める。</li> <li>新たに整備された公園等については、地元組織の積極的な活用に向け検討を行う必要がある。</li> </ul>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地環境を生かし、公園や緑道の整備と併せ、公共サインの整備を継続的に行うことで、より良い歩行者ネットワークの形成を図る。</li> <li>新たに設置した防災備蓄倉庫を活用した、地域防災力の向上を図る。</li> <li>地域の人が主体となり、公園を活用したイベント等を実施することで、人々が滞留できるより良い公共空間の継続的な創出を図る。</li> <li>未整備の公園の早期整備を行う。</li> <li>下水道の整備を計画に基づき整備を行い、安全性向上を図る。</li> <li>事業実施に際しては地域住民等の参画を促し、施設への愛着の醸成を図るとともに、利活用の視点を含めた整備内容の検討に努める。</li> </ul>								

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		指標1:住みごちの良さに対する満足度→目標値 80.0%(H35) 指標2:緑環境に対する満足度→目標値 60.0%(H35)	指標1:住みごちの良さに対する満足度→目標値 82.0%(R5) 指標2:緑環境に対する満足度→目標値 62.0%(R5)	・令和2年の都市構造再編集集中支援事業費補助への移行に伴い、評価指標の数値の見直しを行った。
D. その他( )		●			



都市再生交通 拠点整備事業							
土地区画整理 事業(都市再 生)							
住宅市街地 総合整備事業							

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	(仮称) 柏北部東地区新設小学校関連施設整備	—		75		地域コミュニティの中心となる滞留空間創出のため事業を追加	指標1,2に関連性はあるが、目標及び指標への影響はない。	●	
事業活用調査	都市再生整備計画事後評価及び次期計画策定	4		9		事業内容精査により委託費の増加	目標及び指標への影響はない。		●
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業		柏の葉キャンパス駅周辺	—	—	H12年度～H34年度	H12年度～R10年度	取組継続		
道路空間利活用事業		柏の葉キャンパス駅周辺	—	—	H26年度～H35年度	H26年度～R5年度	取組継続		
二号調整池(アクアテラス)		柏の葉キャンパス駅周辺	—	—	H28年度～H35年度	H26年度～R5年度	取組継続		
こんぶくろ池公園ボランティア支援事業		こんぶくろ池公園	—	—	H26		取組継続		
カシニワ制度		計画区域全域	—	—	H22		取組継続		
柏北部東地区農あるまちづくり事業		柏北部東地区	—	—	H23		取組継続		
柏たなか駅前公園利活用事業		柏たなか駅前公園	—	—	R5		取組継続	事業者を柏市まちづくり公社から民間事業者へ変更予定	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし			
指標1	住みごこちの良さに対する満足度	%	-	-	76.2	H30	82.0	R5	モニタリング			モニタリング			-	○
									事後評価	確定 見込み	○	69.8	事後評価	×		
指標2	緑環境に対する満足度	%	-	-	51.8	H30	62.0	R5	モニタリング			モニタリング			-	○
									事後評価	確定 見込み	○	52.6	事後評価	×		
指標3	地区内におけるエリアマネジメントの取組件数	件/年	-	-	5	H30	7	R5	モニタリング			モニタリング			-	-
									事後評価	確定 見込み	○	7	事後評価	○		
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	都市再生整備計画事業により整備が進んでいるものがあつたものの、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかつたため、公園事業の多くが未着手となつており、公園が利用できない箇所があつたことや未整備で荒れた状態となつていた箇所があつたことが影響していると考えられる。	柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業の進捗に併せ公園整備を行うことから、事後評価時点で事業実施の見通しが立たない。 本指標は次期計画において位置付ける予定。
指標2	都市再生整備計画事業により整備が進んでいるものがあつたものの、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかつたため、公園事業の多くが未着手となつており、公園が利用できない箇所があつたことや未整備で荒れた状態となつていた箇所があつたことが影響していると考えられる。	柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業の進捗に併せ公園整備を行うことから、事後評価時点で事業実施の見通しが立たない。 本指標は次期計画において位置付ける予定。
指標3	従前より2件新たに取組が実施され、見込値となる現時点においても、目標値の7件に到達しているため。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回つた場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	モニタリング	事後評価	数値		
その他の数値指標1	5年前と比較した住みごちの良さに対する満足度	%	-	-	-	-	モニタリング	確定	○	33.0	【指標1】「住みごちの良さに対する満足度」は未達成となったため、事業を評価するための代替指標として設定する。
							事後評価	見込み			
その他の数値指標2	5年前と比較した水・緑環境に対する満足度	%	-	-	-	-	モニタリング	確定	○	36.2	【指標2】「緑環境に対する満足度」は未達成となったため、事業を評価するための代替指標として設定する。
							事後評価	見込み			
その他の数値指標3	整備した公園や緑道、公共サインへの訪問・散策意向	%	-	-	-	-	モニタリング	確定	○	64.6	【指標1】「住みごちに対する満足度」と【指標2】「緑環境に対する満足度」は未達成となったため、事業を評価するための代替指標として設定する。
							事後評価	見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・こんぶくろ池公園において、NPO法人こんぶくろ池自然の森による環境教育・啓蒙活動や研究活動、他団体と連携したイベント等が多数開催された  
 ・柏北部東地区農あるまちづくり実行委員会によって、川端調整池に整備された遊歩道と歩道間の法面花壇に植える菜の花の種ダンゴを地域の子どもたちにつくってもらいイベントが実施された  
 ・柏北部東地区新設小学校関連施設整備事業において隣接地に整備された「みんなの森」では、学校の課外活動に活用するほか、近隣に開放し、緑溢れる地域の人々の憩いの場とする計画としている。また、「みんなの広場」においては、近隣住民の散歩の際の休憩ポイントとして計画していることから、今後定着が見込まれている。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫観察会や定期的な自然観察会等</li> <li>・農業体験農園の運営支援や朝市・収穫祭等のイベント</li> <li>・民間私有地と歩道を活用したフリーマーケット等</li> <li>・フラワーカーペット、屋外映画上映や手持ち花火大会等</li> <li>・街中でのハロウィンイベント</li> <li>・UDCKのこれまでの取組と今後の活動紹介</li> <li>・柏たなか地区まちづくり協議会において整備内容について協議・調整を実施</li> <li>・柏の葉国際キャンパスタウン構想委員会空間デザイン部会において整備内容の調整・助言を実施</li> </ul>	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏の葉キャンパス駅周辺および柏たなか駅周辺では、公・民・学が共同運営している柏の葉アーバンデザインセンターを主体として、随時様々な取組を実施している。</li> </ul>	今後も継続し取組の展開に努める
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
・駅前清掃やムクドリ対策の実施	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由 )</p>	<p>● 柏の葉駅周辺環境向上に向け、定期的に取組を展開した</p>	<p>柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会</p>	<p>今後も継続し取組の展開に努める</p>
<p>・住民同士の交流会、スマートシティ検討のためのプラットフォームの組成</p> <p>・プロジェクト連携会議の開催</p>	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由 )</p>	<p>● 地元のチャレンジを後押しする形での意見交換の場を組成し、定期的に会議を開催した</p>	<p>一般社団法人 柏の葉アーバンデザインセンター</p>	<p>今後も継続して実施し、まちづくりの担い手の育成や地区で多様な取組の展開に努める</p>
<p>・エリアマネジメントの取組を展開</p> <p>・道路占用許可の特例制度を活用し、賑わいのある歩行者空間を形成</p>	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由 )</p>	<p>● 一般社団法人UDCKタウンマネジメントが中心となり、計画的にイベント等を開催した</p>	<p>一般社団法人 UDCKタウンマネジメント</p>	<p>今後も継続し取組の展開に努める</p>

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	企画部経営戦略課 危機管理部防災安全課 土木部道路総務課 都市部都市計画課、公園緑地課 上下水道局経営企画課、下水道工務課 教育委員会教育総務部教育施設課	令和5年12月21日(木)	都市部北部整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3	指標○	指標○	指標○		
指標名		地区内におけるエリアマネジメントの取組件数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園:こんぶくろ池公園	○	こんぶくろ池公園の整備と並行してこんぶくろ池公園ボランティア支援事業をH26年度から続行している。また、公共サイン整備事業において、かけだし横丁脇の道路等に公共サインを整備することで、歩きやすい空間の創出を行い、新たに道路空間利活用事業(かけだし横丁脇)等の実施に貢献した。				
	公園:正連寺並木道緑地	—					
	公園:2号近隣公園(北部中央)	△					
	公園:3号近隣公園(北部中央)	△					
	公園:2号街区公園(北部中央)	—					
	公園:6号街区公園(北部中央)	—					
	公園:御領前地区街区公園(大室東)	—					
	公園:多目的公園(大室東)	—					
	下水道:大室東地区雨水排水	—					
	地域生活基盤施設:公共サイン整備	○					
	地域生活基盤施設:防災備蓄倉庫等整備	—					
	高質空間形成施設:せせらぎ小径	—					
高質空間形成施設:東地区川端調整池修景整備	—						
提案事業	地域創造支援事業:(仮称)柏北部東地区新設小学校関連施設整備	—					
	事業活用調査:都市再生整備計画事後評価	—					
関連事業	柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業	△					
	道路空間利活用事業	◎					
	二号調整池(アクアテラス)	◎					
	こんぶくろ池公園ボランティア支援事業	◎					
	カンニワ制度	◎					
	柏北部東地区農あるまちづくり事業	◎					
柏たなか駅前公園利活用事業	△						

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も公園等の公共施設の整備等を行い、空間の利活用に貢献する。			
-------	---------------------------------	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標〇			指標〇		
指標名		住みごこち良さに対する満足度			緑環境に対する満足度								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	公園:こんぶくろ池公園	△	都市再生整備計画事業により整備が進んでいるものがあつたものの、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかつたため、公園事業の多くが未着手となつており、公園が利用できない箇所があつたことや未整備で荒れた状態となつていた箇所があつたことが影響していると考えられる。	I	△	都市再生整備計画事業により整備が進んでいるものがあつたものの、関連事業である柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業における公園用地の造成整備の遅れに伴い、用地の移管がされなかつたため、公園事業の多くが未着手となつており、公園が利用できない箇所があつたことや未整備で荒れた状態となつていた箇所があつたことが影響していると考えられる。	I						
	公園:正連寺並木道緑地	△			△								
	公園:2号近隣公園(北部中央)	××			××								
	公園:3号近隣公園(北部中央)	××			××								
	公園:2号街区公園(北部中央)	××			××								
	公園:6号街区公園(北部中央)	××			××								
	公園:御領前地区街区公園(大室東)	△			△								
	公園:多目的公園(大室東)	××			××								
	下水道:大室東地区雨水排水	△			—								
	地域生活基盤施設:公共サイン整備	△			—								
	地域生活基盤施設:防災備蓄倉庫等整備	△			—								
	高質空間形成施設:せせらぎ小径	△			△								
	高質空間形成施設:東地区川端調整池修景整備	△			△								
提案事業	地域創造支援事業:(仮称)柏北部東地区新設小学校関連施設整備	△			△								
	事業活用調査:都市再生整備計画事後評価	—			—								
関連事業	柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業	×			×								
	道路空間利活用事業	△			△								
	二号調整池(アクアテラス)	△			△								
	こんぶくろ池公園ボランティア支援事業	△			△								
	カンニワ制度	△			△								
	柏北部東地区農あるまちづくり事業	△			—								
	柏たなか駅前公園利活用事業	×			×								

※目標未達成への影響度  
 ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となつた。  
 ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となつた。  
 △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 —:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類I:内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類II:外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類III:外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類IV:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	引き続き整備中の公園や公共サイン等、未整備の公園の整備を進めることにより、より多くの人が住みやすいと感じるまちを目指すとともに公・民・学が連携したソフト事業を継続的に取り組む。	引き続き整備中及び未整備の公園の整備を進めることにより、より多くの人が緑環境が良いと感じるまちを目指す。	
------------------	--	--	--



(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	企画部経営戦略課 危機管理部防災安全課 土木部道路総務課 都市部都市計画課、公園緑地課 上下水道局経営企画課、下水道工務課 教育委員会教育総務部教育施設課	令和5年12月21日(木)	都市部北部整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
<p>■財源面の課題 宅地開発が順調に進み、定住人口も当初計画以上の伸び率を示している一方で、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」や「まちづくりビジョン」で計画している高質な公共空間整備が財源確保などの面から遅延している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東地区川端調整修景施設整備により、親水機能を有した調整池を整備し、緑あふれる都市空間の創造に寄与した。</li> <li>正連寺並木道整備により、公民学連携でデザイン協議を実施した高質な公共空間整備に寄与した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、こんぶくろ池自然博物公園やせせらぎの小径等の整備を進める必要がある。</li> <li>引き続きこれらの整備および整備後の維持管理に必要となる財源の確保が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備後の公園等の管理</li> <li>整備した公園等を活用した地元組織等による人の滞留を生む取組の展開支援や防災に関する取組の促進</li> </ul>
<p>■上位計画に対する課題 定住人口の確保及び来訪者へのサービス向上を図るため、自然環境を活かした特色ある公園・緑地整備や修景施設等の早期整備が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御領前地区街区公園の整備や川端調整池にて修景整備を実施し、自然環境を活かした特色ある整備を実施した。</li> <li>こんぶくろ池自然博物公園は整備を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、こんぶくろ池自然博物公園の整備を進める必要がある。</li> <li>未整備である、北部中央地区の2号近隣公園、3号近隣公園、2号街区公園、6号街区公園、せせらぎの小径と大室東地区の多目的公園の整備を行う必要がある。</li> <li>これらの公園等を区画整理の進捗と合わせ早期に整備することが課題である。</li> </ul>	
<p>■定住人口促進面の課題 本地区内の一部では、都市基盤施設(雨水)整備の未完地区があるため、宅地開発の進捗を阻害しないように安心なまちづくりを図るためにも早期整備の必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな小学校関連施設及び防災備蓄倉庫等の整備により防災性の向上を図った。</li> <li>交付対象期間内に計画した都市基盤施設(雨水)整備は完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、計画に基づき整備を進めていくことが課題である。</li> </ul>	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	更なる歩行者ネットワークの構築	緑地環境を生かし、公園や緑道の整備と併せ、公共サインの整備を継続的に行うことで、より良い歩行者ネットワークの形成を図る	・公共サイン整備 ・緑地の整備 ・せせらぎの小径の整備
	防災性の向上や情報の周知	防災性の向上や情報の周知	・〈新規〉防災訓練の支援・企画
	都市基盤施設の整備	都市基盤施設(雨水)整備の未完地区があるため、継続して計画に基づき整備を進める。	・〈継続〉下水道事業
	公・民・学連携による公共空間の活用促進	公・民・学連携により、公園を活用したイベント等を実施することで、人々が滞留できるより良い公共空間の継続的な創出を図る	・〈新規〉エリアマネジメントのガイドラインの作成

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	未整備の公園整備	未整備の公園の早期整備を行う	・〈継続〉公園事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	住みごちの良さに対する満足度	%	76.2	H30	82.0	R5	確定	69.8	×	あり	○	-	-	評価値は見込みだが、関連事業の進捗が遅れたことで、指標に関連する事業に着手できなかったことが目標未達の要因であったと考えられる。評価時点で事業実施の見通しが立たないこと、策定中の次期計画において引き続き公園等の整備を実施することから、次期計画において当該指標を位置付けることでフォローアップを実施しないこととした。
							見込み			なし				
指標2	緑環境に対する満足度	%	51.8	H30	62.0	R5	確定	52.6	×	あり	○	-	-	評価値は見込みだが、関連事業の進捗が遅れたことで、指標に関連する事業に着手できなかったことが目標未達の要因であったと考えられる。評価時点で事業実施の見通しが立たないこと、策定中の次期計画において引き続き公園等の整備を実施することから、次期計画において当該指標を位置付けることでフォローアップを実施しないこととした。
							見込み			なし				
指標3	地区内におけるエリアマネジメントの取組件数	件/年	5	H30	7	R5	確定	7	○	あり	-	-	-	
							見込み			なし				
その他の数値指標1	5年前と比較した住みごちの良さに対する満足度	%	-	-			確定	33.0						
その他の数値指標2	5年前と比較した水・緑環境に対する満足度	%	-	-			確定	36.2						
その他の数値指標3	整備した公園や緑道、公共サインへの訪問・散策意向	%	-	-			確定	64.6						

**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点	—	数値目標設定の際には、関連事業等の状況を十分踏まえた上で設定する
	うまくいかなかった点	指標1, 2について、公園整備を計画していた地区で進められていた土地区画整理事業の進捗が遅れたことにより、複数の公園等の整備が未着手となった。	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	指標3について、関連事業と連動し、エリアマネジメントの取組をさらに促進することができた。	取組継続に努める
	うまくいかなかった点	—	
住民参加・情報公開	うまくいった点	川端調整池の修景整備の際に、柏北部東地区農あるまちづくり実行委員会により地元の子どもたちに菜の花の種ダンゴづくりを行うイベントが実施された。この活動を機に、今後同様の活動ができる場所が創設できた。	住民参加によるまちづくりは、整備した施設等の利用促進にも有効であると考え、今後も積極的に取組む
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	

**添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画(令和6年度～令和10年度)

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和6年1月26日(金)～ 2月8日(木)	令和6年1月26日(金)～ 2月8日(木)	・意見受付送信フォームでの回答 ・担当課への郵送・ FAX・直接持参	柏市都市部 北部整備課
その他	市役所北部整備課窓口にて 縦覧				
住民の意見					

## (6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	大沢 昌玄 (日本大学理工学部土木工学科 教授)	令和6年3月14日(木)	都市部北部整備課	柏市社会資本整備総合 交付金委員会設置要領	独自の設置
その他の委員	三牧 浩也(一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンター) 金井 哲治(柏の葉地区ふるさと協議会会長) 増田 勝美(田中地区ふるさと協議会会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 都市再生整備計画

かしわ は えき かしわ えきしゅうへん ち く  
柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区  
(第4回変更)

ち ば かしわ  
千葉県 柏市

令和5年10月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>



## 目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	千葉県	市町村名	柏市	地区名	柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅周辺地区	面積	428 ha
計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度				

<p><b>目標</b></p> <p>大目標 優れた自然環境と共生し、健康で高質の居住・就業環境が実現される、持続性・自律性の高い「次世代環境都市」となるためのまちづくりの推進</p> <p>小目標① 環境と共生する田園都市づくり</p> <p>小目標② 質の高い都市空間のデザイン創出</p> <p>小目標③ 公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施</p>
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市では、平成30年4月に「柏市立地適正化計画」を策定しており、本市内の北部に位置する、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺の115ha、また柏たなか駅周辺の38.2haを都市機能誘導区域に設定している。</p> <p>この立地適正化計画において、柏の葉キャンパス駅周辺地区は、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の公・民・学の連携による、「環境・健康・創造・交流の街」をコンセプトにオフィス、研究所等の業務地を整備し、高次都市機能の集積を図るとともに、新たな商業地を配置してJR柏駅周辺の既存中心市街地と役割を分担することとしている。</p> <p>また、柏たなか駅周辺地区では、駅への求心性を高めるため都市計画制度の活用や行政所有地の活用等による施設の立地誘導を図るとともに、千葉大学、地元町会・商店会等と「農あるまちづくり実行委員会」を設立して駅近郊にある古くからの農地と農村集落による緑豊かな地域を活用した健康で安らぎのある暮らしの実現を図るための農業体験農園や、朝市などを開催して地産地消・流通支援の推進することとしている。</p> <p>これらの構想や既存機能の活用を實踐して、柏の葉キャンパス駅及び柏たなか駅の徒歩・自転車利用圏に設定した居住誘導区域での人口維持・誘導と都市機能の拡散防止を図る。</p>
<p><b>まちづくりの経緯及び現況</b></p> <p>(まちづくりの経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年のつくばエクスプレス開業に合わせて、平成12年から、柏の葉キャンパス駅周辺と柏たなか駅周辺の2地区で土地区画整理事業による計画的な市街地整備が進められている。現在も柏の葉キャンパス駅周辺では土地区画整理事業が進められており、柏たなか駅周辺では宅地整備が進行している。</li> <li>平成18年11月に、柏の葉駅周辺地区では、大学、本市、企業、商工会議所、地域住民協議会、鉄道会社からなるUDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)が設置され、地域をベースとした公民学連携のまちづくりを進める「場所」「環境」が整えられている。</li> <li>平成20年3月に、千葉県、本市、大学、民間企業、市民、NPO等が連携・協働して、健康で高質の居住・就業環境が実現される、持続性・自律性の高い次世代環境都市となることなどを目指した、柏の葉国際キャンパスタウン構想(平成26年3月に修正)を策定しており、本地区の大部分がこの構想区域内に含まれている。</li> <li>平成20年3月に、柏たなか駅周辺での「まちづくりビジョン」を策定し、農あるまちづくりの推進などまちづくりの方向性を設定している。</li> <li>平成21年度から平成25年度までの5ヶ年計画として、(第1期)都市再生整備計画を策定している。</li> <li>平成26年度から平成30年度までの5ヶ年計画として、第2期都市再生整備計画を策定している。</li> <li>平成30年4月に策定した「柏市立地適正化計画」において、柏の葉キャンパス駅(115.0ha)と柏たなか駅周辺(38.2ha)を都市機能誘導区域に、また本地区の大部分を居住誘導区域に設定している。</li> </ul> <p>特に、柏の葉駅周辺地区は都市拠点と位置付けており、市外も含めた広域から多くの人々が訪れる場として多様な都市機能の集積を図ることとしている。</p> <p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏の葉キャンパス駅周辺区画整理事業区域内での人口は、平成29年10月現在で約8,900人となっている。(平成19年10月の人口625人)</li> <li>柏たなか駅周辺区画整理事業区域内での人口は、平成29年10月現在で約4,600人となっている。(平成19年度末での人口743人)</li> <li>*平成19年度の人口数は、区画整理事業に伴う宅地開発が概ね当該年度から促進していることから最新値との比較値として記載している。</li> </ul>
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財源面の課題)宅地開発が順調に進み、定住人口も当初計画以上の伸び率を示している一方で、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」や「まちづくりビジョン」で計画している高質な公共空間整備が財源確保などの面から遅延している。</li> <li>(上位計画に対する課題)定住人口の確保及び来訪者へのサービス向上を図るため、自然環境を活かした特色ある公園・緑地整備や修景施設等の早期整備が必要である。</li> <li>(定住人口促進面の課題)本地区内の一部では、都市基盤施設(雨水)整備の未完地区があるため、宅地開発の進捗を阻害しないように安心なまちづくりを図るためにも早期整備の必要がある。</li> </ul>
<p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p>【柏の葉キャンパス駅周辺地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県、東京大学、千葉大学及び本市が共同して「柏の葉国際キャンパスタウン構 想」を策定し、「環境共生都市」「健康未来都市」「新産業創造都市」を「公・民・学の連携、知的交流」の中から生み出していくというまちづくりのコンセプトに先端的で自立した都市づくりを實踐する。</li> </ul> <p>【柏たなか駅周辺地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏市立地適正化計画で、地域住民が日常生活を送る上での中心的な役割を担い、日常で必要となる都市機能を維持・誘導していく生活拠点と位置付けている。また、古くからの豊かな農地と農村集落によって育まれてきた緑豊かな地域を継承し、新たに住み始める人々と昔からの住民と一緒に、まちの中に残される農地を活用して、健康で安らぎのある暮らしの実現を目指す。</li> </ul>

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

【柏の葉キャンパス駅周辺地区】

・学術、文化、健康等の機能を有する官公庁施設等を集積している利点を活かし、オフィス、研究所等の業務地を整備・誘導するとともに、新たな商業地の配置を図る。

【柏たなか駅周辺地区】

・地区住民へ日常生活サービスを提供する一般商業地や公共交通の利便性を活かし、公共公益や医療系施設の配置など居住誘導の強化を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

官が、一般的な都市基盤施設のみならず、世代交流ができるような新たな居住者となる若者世代を支援するための子育て支援機能と昔から居住されている高齢者向けの機能を有する複合的公共施設や、道路・調整池等の公共用地の高質空間化を図るなど魅力あるまちづくりを推進して居住人口の誘導・維持を図り、新たな民間事業者や医療・社会福祉事業者が参入しやすくなるような環境を整備する。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

都市再生土地地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
住みごごちの良さに対する満足度	%	市民意向調査において、「住みやすい」と回答した割合	住みごごちの良さに対する満足度の増加により、小目標①～③の環境との共生、質の高い都市空間デザイン創出、エリアマネジメント等によるまちづくりの効果を確認する。	76.2	H30	82.0	R5
緑環境に対する満足度	%	市民意向調査における地区内の緑環境に対し、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した割合の合計	緑環境に対する満足度の増加により、小目標①環境と共生する田園都市づくりの効果を確認する。	51.8	H30	62.0	R5
地区内におけるエリアマネジメントの取組件数	件／年	地域のまちづくり団体等によるエリアマネジメントの取組件数	地区内におけるエリアマネジメントの取組件数の増加により、小目標③公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施の効果を確認する。	5	H30	7	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【環境と共生するまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湧水池や野馬土手などの自然環境を継承した環境共生型のまちづくりを実現するため、樹林保全等を図りながら公園や緑道等を整備する。</li> <li>既存資源の保全を目的に、ふれあいとやすらぎのある水辺空間として、せせらぎの再生を図る。</li> <li>公民学が連携して、公共空間の持続可能な管理・運営を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園：こんぶくろ池公園，正連寺並木道緑地，及び野馬土手緑道整備事業</li> <li>高質空間形成施設：せせらぎの小径整備事業</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)柏北部東地区新設小学校関連施設整備事業</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業(千葉県)</li> <li>こんぶくろ池公園ボランティア支援事業(NPO法人)</li> <li>カシニワ制度(柏市)</li> <li>柏北部東地区農あるまちづくり事業(柏北部東地区まちづくり検討協議会)</li> <li>柏たなか駅前公園利活用事業((一財)柏市まちづくり公社)</li> </ul>
<p>【質の高い都市空間のデザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな緑地環境を生かした緑あふれる都市環境を創造する目的で、都市公園や親水機能を有した調整池等を整備する。</li> <li>健康を育むために、駅周辺の都市環境から自然型公園や調整池など身近な自然環境までの間を円滑に歩くことを支援するマップやサインなどによる情報提供施設を整備する。</li> <li>災害発生時等に地域の防災拠点となる新設の小学校敷地内に、防災備蓄倉庫等を整備する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園：2号近隣公園，3号近隣公園，1号街区公園，2号街区公園，3号街区公園及び6号街区公園整備事業(北部中央)，御領前地区街区公園及び多目的公園整備事業(大室東地区)</li> <li>下水：東地区雨水排水整備事業</li> <li>地域生活基盤施設：公共サイン整備事業</li> <li>地域生活基盤施設：防災備蓄倉庫等整備事業</li> <li>高質空間形成施設：東地区川端調整池修景施設整備事業</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)柏北部東地区新設小学校関連施設整備事業</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業(千葉県)</li> <li>道路空間利活用事業((一社)UDCKタウンマネジメント)</li> <li>こんぶくろ池公園ボランティア支援事業(NPO法人)</li> <li>二号調整池(アクアテラス)((一社)UDCKタウンマネジメント)</li> <li>カシニワ制度(柏市)</li> </ul>
<p>【公・民・学連携によるエリアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や来街者等，地区内での人々の交流・活動の場となる公園を整備する。</li> <li>整備した空間，施設等を活用を促進し，公・民・学連携によるエリアマネジメントの取組を推進するための事業の実施，取組支援を行う。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園：2号近隣公園，3号近隣公園，1号街区公園，2号街区公園，3号街区公園及び6号街区公園整備事業(北部中央)，御領前地区街区公園及び多目的公園整備事業(大室東地区)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業(千葉県)</li> <li>道路空間利活用事業((一社)UDCKタウンマネジメント)</li> <li>こんぶくろ池公園ボランティア支援事業(NPO法人)</li> <li>カシニワ制度(柏市)</li> <li>柏北部東地区農あるまちづくり事業(柏北部東地区まちづくり検討協議会)</li> <li>柏たなか駅前公園利活用事業((一財)柏市まちづくり公社)</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>○交付期間中の事業管理について          交付期間中の円滑な事業の推進のため，関連部署間の連携に努め，事業進捗管理や事業効果等について定期的な確認，協議を行う。          事業の内容・成果等について，市広報誌及びホームページにより適宜周知する。</p> <p>○公・民・学連携によるエリアマネジメント活動について          本市においては，民間企業，大学，柏市等で構成された一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)や柏アーバンデザインセンター(UDC2)，NPO法人等と連携し，公・民・学連携によるエリアマネジメント活動を推進しているところであり，本地区においても，道路空間利活用事業やこんぶくろ池公園ボランティア支援事業，柏北部東地区農あるまちづくり事業等の実施により，地域住民，企業，大学等，様々な主体の参画によるまちづくりの推進を図る。</p>	

